

日本労働組合総連合会第92回メーデーに際し、新潟労働局長としてのメッセージを送らせていただきます。

連合新潟の幹部の皆様、来賓の皆様、そしてインターネット動画を通じてこの式典に参加されている皆様、本日、第92回メーデーが盛大に開催されましたことを心からお祝い申し上げます。

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大の状況から、今年も一般の労働者の方々は会場にお集まりになれず、インターネットを通じて参加される形となりましたが、こうした様々な工夫により、メーデーという労働運動の火を途絶えさせることなく、聖火リレーのようにつながれていることに、深く敬意を表します。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大は、わが国の社会・経済、そして市民生活に至るまで、極めて深刻なダメージを与えています。

新潟労働局及び県内の労働基準監督署・ハローワークでは、雇止めや休業等の御相談が数多く寄せられる中、事業主の皆様に対して、雇用調整助成金の活用などにより、雇用維持を図っていただくよう強く要請しています。

新型コロナウイルス感染症の収束は、未だ見通せない中ではありますが、働き方改革についても、多様な働き方を選択できる社会を実現するため、助成金を活用した在宅勤務、テレワーク導入の働きかけなどを行っており、新潟労働局といたしましても、現下の困難を乗り切るため、できる限りの支援をさせていただいているところです。

また、県内に働く皆さんが安心して将来に希望を持って働くことができる職場環境の整備とともに、ワークライフバランスの実現のため、今後も引き続き取り組みを進めて参りたいと考えております。

メーデーに参加の皆さま、関係機関の皆様、新潟県を始めとする地方自治体と一緒に戦って、この困難を克服しましょう。

本日のメーデーが、県内で働く皆様にとって、歴史的に重要な1ページとなり、さらなる発展につながることを心から祈念申し上げます、メッセージといたします。

令和3年4月29日

新潟労働局長 岩瀬 信也